

サプライチェーン・マネジメント

WHY? なぜ重要か

サプライチェーンが世界各地に広がり、新興国を中心とする児童労働や強制労働などの人権問題や労働安全衛生など労働上の問題、環境破壊などが問題視されるようになりました。また、こうしたサプライチェーン上の問題がある企業に対する不買運動などによって社会課題を解決しようとする傾向も高まっています。企業は、自社のみならず、そのサプライチェーンも含めてCSRの取り組みを強化していく必要があります。

DAIKIN'S APPROACH

ダイキンは、1992年に購買基本方針を制定し、取引先様との公正な取引に努めています。

グループ内にとどまらず、サプライチェーン全体を当社の社会的責任の範囲と捉え、「グリーン調達ガイドライン」、「サプライチェーンCSR推進ガイドライン」を定め、サプライチェーンにおける環境、品質、労働安全、人権などのCSR取り組みを推進しています。

CSR調達の推進

取引先様へのCSR調査を実施

ダイキンは、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすため、世界各地の取引先様とともに、責任ある調達に取り組んでいます。「サプライチェーンCSR推進ガイドライン」を策定し、経営や法令遵守などの一般的な要求に加え、環境・品質・労働安全・人権・紛争地域との取引禁止など、CSR全般にわたって取り組んでいくことを取引先様をお願いしています。ガイドラインの遵守状況をモニタリングするCSR調査を行い、社内基準によって取引先様を評価しています。社内基準を満たした取引先様の割合を「CSR調達実施率」と定めており、2020年度は99%でした。

サプライチェーンにおけるリスクマネジメント

ダイキンは、事業のグローバル化に伴い増大する調達リスクの軽減に努めています。取引先様の経営状況の悪化、自然災害や事故等が起こった場合にも、原材料や部品等が安定的かつタイムリーに、また合理的な価格で供給されることを確保するため、調達先の複数化・地域的分散、部品の共通化・標準化等の対応を進めています。新型コロナウイルス感染症拡大により、世界全体で国や地域を越えた原材料等の調達の難しさが増しているため、さらなる現地調達化を促進します。

取引先様との連携

取引先様の品質向上、人材育成を支援

お客様に信頼していただける製品を提供するためには、取引先様の協力が欠かせません。ダイキンは、すべての取引先様と強い信頼関係のなかで切磋琢磨しながら、それぞれの立場で互いの期待に応え続け、ともに成長・発展する関係づくりに努めています。国内外の拠点で定期的に取引先様の生産現場における品質監査の実施や、品質改善に関する対話など取引先様と連携した品質向上に努めるとともに、技術力の向上を支援しています。また、安全に関する会合を定期的に開催するなど、労働災害の未然防止を支援しています。

マックイ中国(蘇州)社では、2020年度、お客様からの品質不具合のフィードバックを受け、空調品質部門が11社の取引先様と一緒に品質管理体制と製造プロセスを分析しました。改善項目を整理し、品質担当者に教育指導を行うことで、そのすべてを改善しました。

圧縮機品質部門でも、取引先様の品質会議に参加し、監査項目の追加や製造工程を改善するなどした結果、2019年度と比べ購入品の不良率を約2%下げることができました。



取引先様との品質会議